

## ライダーへのサービス充実を目指し オフロードレース会場でプロによる 身体メンテナンスを提供。

READY TO RACEを目指すKTMはオフロードレースをより優れた環境で戦ってもらうため、全日本モトクロス選手権ならびにJNCC各戦においてKTMおよびハスクバーナマシンでの参戦ライダーを対象に、プロの治療家による身体メンテナンスサービスを無償で提供することとなりました。

エクストリームなモーターサイクルを展開するKTM(KTMジャパン)は、特定非営利活動法人 日本手技療法セラピスト検定協会(神戸市中央区 理事長 長尾祥史 以下、MTAA)と、同協会を母体とするアイ・セラピスト専門学院(神戸市中央区 学院長 藤田志乃)と提携し、全日本モトクロス選手権ならびにJNCC各戦においてKTMおよびハスクバーナマシンでの参戦ライダーを対象に、身体メンテナンスサービスを無償で提供いたします。

KTMではかねてより、マシンを販売するだけでなく、レースを楽しみながら高いパフォーマンスを発揮するためのピットサービスなど各種のサポートを行ってききましたが、更にレースを戦うライダーのために心身のリラックスとメンテナンスを行うことでより優れた環境でレースを楽しんでいただくという考えから今回のサポート提供となりました。

施術は、KTM/ハスクバーナの契約ライダーのみならず一般参加の両ブランドユーザー、チームを支えるメカニックにまで対象を広げ、MTAAの認定校であり日本全国に28校を展開するアイ・セラピスト専門学院の講師陣並びにMTAA認定のプロの治療家が行います。

同校では2012年、2013年とKTM RC8Rで鈴鹿8時間耐久レースに参戦したKTM浜口ばくおんレーシングの藤島翔太選手も講師を務めており、同校の「より幅広くかつプロフェッショナルなセラピストの育成・充実」と、KTMが目指すすべてのKTMライダーにサービスを提供するという姿勢が一致し、今回のサービス提供につながったものです。

それぞれのレース会場では、日ごろの社会生活のストレスや無理な練習で傷ついた体をほぐすほか、予選日にはリラックスしてレースに臨めるよう決勝に向けた身体の最終ケアを、また決勝日には最高のパフォーマンスを発揮できるよう身体のセットアップを行い、さらにレース後には酷使した肉体の疲れを癒やすといったサービスを行います。

対象となるレースは全日本モトクロス選手権については東北大会と北海道大会を除く全戦、JNCCについては山形(月山)、新潟を除く全戦で、KTMビレッジ内に特設の施術スペースを設け、予選時から選手の体のケア&メンテナンスを行ってまいります。

KTMは優れたパフォーマンスを発揮するモーターサイクルを開発し、KTMライダーの皆さんが優れた環境でレースを楽しむことができるようあらゆる努力を惜しみません。今後もREADY TO RACEなKTMに是非ご期待ください。



施術はNPO法人日本手技療法セラピスト検定協会を母体に全国28校を展開するアイ・セラピスト専門学院の講師陣とMTAA認定のプロの治療家が行います。アイ・セラピスト専門学院はNPO法人日本手技療法セラピスト検定協会を母体とし、鈴鹿8時間耐久レースに参戦したKTM浜口ばくおんレーシングの藤島翔太選手も講師として在籍しています。

アイ・セラピスト専門学院  
神戸市中央区三宮町3丁目7-10 協栄ビル  
TEL 078-331-5181  
<http://www.i-therapist.jp/>



2013年鈴鹿8時間耐久レース時の施術風景

### メディア関係者各位

お問い合わせ: KTM JAPAN 株式会社 担当:野口  
〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC 有明2F  
TEL: 03-3527-8885 FAX: 03-3527-8890  
<http://www.ktm-japan.co.jp/>